



歴史検定 合格者向けバスツアー開催

今年で11回目を迎える「小郡ふるさと歴史検定」は、合格するとさまざまな特典があります。

3月20日、合格が通算4回以上になった人を対象に、周辺の関連史跡や施設を巡るバスツアーを開催しました。参加者からは「周辺の歴史を知ること、小郡市の歴史をより深く知ることができた」と喜びの声があがりました。

検定合格特典にはこの他にも、ものづくり講座の参加費無料や『ふるさと小郡のあゆみ』のコラム執筆もあります。

次回検定は広報おごおり7月号にてお知らせします。ぜひチャレンジしてみてください。



織物作家が宝満川の「流」を制作

2月27日、物流施設「GLP福岡小郡」のリビングラボに、宝満川をイメージした最長3メートルの織物が15枚吊り下げられました。「流(りゅう)」と題したこの作品は、川面のきらめきや流れ、深い静けさといった水の表情が表現されています。

制作者は、今隈に織物工房を構えて40年の田籠みつえさん。「宝満川をより身近に感じ、あたたかな気持ちになってくれたら嬉しい。織物の技術や文化を次の世代へ繋いでいきたい」と作品への思いを語りました。

市民の交流の場としても親しまれる同施設は、午前8時から午後8時まで、入館可能です。



三沢区自治会に天神会が防災備品を寄贈

3月27日、社会医療法人天神会から三沢区自治会へ、防災備品や防災倉庫が寄贈されました。天神会は、三沢区内に新古賀リハビリテーション病院みらいの新築移転を計画しており、地域の防災力向上を目的に寄贈されたものです。

備品は防災テントや折り畳み式リヤカー、トランシーバーなど26品目159点で、受け取った中原規行区長は「実用的な多数の防災備品の寄贈に感謝したい。これを機に、地域住民の防災意識の向上や災害時に活用したい」と語りました。



春の権現さん祭りが行われました

花立山の頂上にある日方神社は、応永30(1422)年に福田美濃守種次が英彦山から勧請(かんじょう)して創建したものです。「大権現をまつた山」であることから、日方神社を含む花立山は「権現さん」と呼ばれています。

「権現さん祭り」は毎年3月15日に日方神社で行われます。10時ごろには干潟・下鶴・佐ノ古の神社総代が参列する神事が執り行われ、地域を見守り続けている神様に感謝を伝えます。

この日は大勢の人が訪れ、地元による参拝者のお接待も行われました。

昔から続く、地域の大切な行事の1つです。

